

平成30年度しきの森保育園自己評価表

A たいへんよい
B よい
C 一部検討を要する
D 改善を要する

平成31年2月公表

項目	内 容	評価				備 考
		A	B	C	D	
保育目標について	(1) 保育目標は社会の要請や保護者の願いを反映しているか。		○			職員会議、リーダー会議、フロア会議や各種文書回覧等様々な方法で職員間の共通理解の醸成を図った。
	(2) 目標は、前年度の反省を生かしているか。					
	(3) 目標は、全職員の共通理解を図っているか。	○				
保育について	(1) 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。		○			保育所保育指針に沿って立案した全体的な計画、月案を基に、よりフロアの実態に即して週案を立案、それを実践し、日々振り返りを行いながら子ども達の姿に合わせて環境構成、教具教材を提供した。来年度も引き続き行う。
	(2) 保育所保育指針に基づく、援助・支援を適切に行っているか。		○			
	(3) 環境の構成を意識して保育や過程を常に工夫しているか。	○				
	(4) 素材・用具を適切に活用しているか。		○			
	(5) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		○			
日・時・程	(1) 1日の流れ（デイリープログラム）は現行でよいか。		○			
行事について	(1) 行事の種類や実施回数は適切か。		○			より子ども達の思いに寄り添えるように、行事の種類、内容を充実させる。
	(2) 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。	○				
	(3) 乳児・幼児の活動範囲を明確にし、自主的、実践的な活動にしているか。		○			
	(4) 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○				
	(5) 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			
経営・組織	分掌・体制	(1) 能率的、合理的な運営組織になっているか。		○		職務分担を明確化するとともに、不足部分は職員間で協力し補完した。開園初年度の不慣れさからくる非能率的、非合理的な部分は次年度には解決する。
		(2) 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○		
		(3) 職員の配置は適材・適所か。		○		
		(4) 係や仕事の分担は適切か。		○		
	運営	(1) 各種会議を適切かつ効果的に進めているか。		○		会議の進め方を職員に教育しながら行うことで、回を重ねる毎により効果的かつ効果的な会議となった。
		(2) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しまずことなく施設の運営に関わっているか。		○		
		(3) 打合せ回数、時間、内容は適切か。		○		
	クラス経営	(1) 0-1歳と2-5歳のクラス経営は、保育目標に基づき行われているか。		○		子ども達の発達過程に応じて保育環境や活動内容を考え、異年齢保育を中心としながらも同年齢児の活動を組み込むことでより良い発達を援助した。
		(2) 異年齢及び同年齢児の効果的な活動の充実を図っているか。	○			
		(3) チーム保育を適切に行っているか。		○		
	保健・安全指導	(1) 0-1歳と2-5歳の保健対策は適切に行われているか。		○		感染症等拡大防止のための取組は適時適切に行えたが、予防のための習慣化の取組はより積極的に行っていく。
		(2) 避難訓練・防犯訓練・交通安全指導を適切に実施しているか。	○			
		(3) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発をおこなっているか。		○		
		(4) 乳幼児の安全確保のため、関係機関との連携を図っているか。		○		
		(5) 乳幼児や保護者に関する個人情報を選正に取り扱っているか。	○			
研修会・講習会について	(1) 各種研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○				
	(2) 各種研修会、講習会への参加について、職員のニーズを把握しているか。	○				
	(3) 各種研修会、講習会での内容を所内に還元しているか。	○				
施設・設備	(1) 施設・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○			不審者対応訓練が未実施であり、計画して行っていく。	
	(2) 遊具・用具等を活用しやすいうように整理・保管しているか。		○			
	(3) 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。		○			
	(4) 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○				
出納・経理	(1) 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				
開かれた保育所づくり	施設間交流・連携	(1) 他施設等と交流は、保育目標や課題に沿ったものになっているか。		○		法人内姉妹園との交流は積極的に行ったが、新規園のため4、5歳児が少ないこともあり、小学校との連携については不十分であった。来年度は積極的に交流機会を作為する。
		(2) 他施設等の幼児と触れ合うことで、幼児が楽しく過ごし、充実感を味わうことができるような配慮や援助・支援を行っているか。		○		
		(3) 保育者同士が合同研修を行い、互いの保育に対する理解を深め援助についての共通理解を図っているか。		○		
		(4) 参観に参加するなどして、小学校の教育を理解しているか。		○		
		(5) 日常的に情報を交換し、交流活動に生かしているか。		○		
	地域との連携	(1) 保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。		○		夏祭りに地域の方を招待したり、隣接施設（グループホーム）との交流は行ったが、やや積極性に欠けた。
		(2) 幼児の興味や関心に基づいて、地域社会・その他の施設と交流しているか。		○		
		(3) 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○		
	子育て支援の推進	(1) 地域の子育てセンターとして、家庭や保育室等を開放しているか。		○		新規園ということもあり、地域子育て支援よりは在園時の保育に集中した。余力を見ながら徐々に地域子育て支援活動も行っていく。
		(2) 「子育てについて」など、保護者を対象とした学習の機会を設定しているか。		○		
		(3) 職員による育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		○		
		(4) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携をとり、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		○		
	情報の発信	(1) 保育所だより・クラス通信、ホームページ等で、施設の情報を発信しているか。	○			在園児家庭に対する情報発信は積極的に行っているが、外部に対しては消極的であった。他機関との連携、子育て支援の観点から、余力を見ながら今後行っていく。
		(2) 行事や子育て支援事業等を地域の連絡会や児童施設、小学校に対して周知しているか。		○		
	外部評価	(1) 第三者評価を導入し、施設運営に反映しているか。				第三者評価は2年以上に実施予定
(2) 第三者委員制度を活用しているか。		○				